

大月町

議会だより

106号

9月定例会

おおつき保育所

寄贈 弘見保育所保護



106号 大月町議会だより

も く じ

- P 2 9月定例会
 - P 4 補正予算等
 - P 6 決算
- P 9 決算審査
(全員協議会)
- P10 委員会報告
- P11 一般質問
- P14 こんにちは

表紙写真によせて



運動会楽しいなー！
踊りも上手でしょ！

豊かな山が豊かな海を育てる

持続可能な大月町を目指し、いま私たちができること…。

◇9月定例会の概要◇

令和3年9月第5回大月町議会定例会は9月9日から9月16日までの会期で開催、承認（補正予算専決）1件、条例1件、契約1件、補正予算6件、決算認定9件、過疎計画1件、辺地計画1件、陳情（発議）1件の計21件が提出され全議案を承認・可決しました。

他に報告2件、委員会報告1件の議会報告がありました。

9月定例会

補正予算

〈全員賛成〉

会 計 名		補 正 額	総 額
一 般 会 計		3億7743万円	55億9359万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	1815万円	8億8811万円
	水 道	22万円	3億4230万円
	介 護 保 険	3209万円	8億6227万円
	漁業集落排水処理事業	0万円	1916万円
	後 期 高 齢 者 医 療	191万円	9622万円

○一般会計

災害復旧費・農地河川 2億850万円

・公共土木施設災害

河川7件、道路4件 計11件

・農地農業用施設

水路2件、農道1件 計3件

その他・教育費他 1億6893万円

○国民健康保険特別会計

基金積立金他 1815万円

○水道特別会計

事務費 22万円

○介護保険特別会計

償還金他 3209万円

○後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金他

191万円

専決補正予算

〈全員承認〉

○令和3年度大月町一般会計補正予算

補正増額計

340万円

令和3年7月18日の大雨災害対応

砂防費

140万円

公共土木施設災害復旧費

200万円

条 例

〈全員賛成〉

○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

【内容】デジタル化による行政手続きに関して個人を識別するため、マイナンバーを利用する条例の改正に伴うもの。

意 見 書

〈全員賛成〉

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

要旨

令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。

生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた固定資産税等に係る特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限をもって確実に終了すること。

・議員発議により本会議で可決し、関係省庁に送付した。

計 画

〈全員賛成〉

○大月町過疎地域持続的発展計画

「住みたい、住める、住んでよかった未来へ繋ぐまちづくり」の目標に向けて、住民が地域の将来に展望と誇り、安心安全な暮らしが持続できるよう、基盤整備を図り地域間格差を是正すると共に、安定した産業基盤を構築し、豊かな自然や人々のふれあいなど地域の特性を活かし福祉の充実を図る事業を行う際に有利な特別措置を受けるために必要な計画。



未来へ繋ぐ地域づくり

○辺地に係る総合整備計画

- 小才角地区（850万円）
道路法面劣化による整備
- 一切地区（7410万円）
橋梁・路面擁壁の劣化による整備
消防車両の更新
- 柏島地区（500万円）
漁業集落排水処理施設の機能保全・
長寿命化



整備された小才角地区

契 約

〈全員賛成〉

○令和3年度小型動力ポンプ付積載車購入契約

- 契約方法 指名競争入札
- 契約金額 899万8000円
- 契約相手 高知市介良甲985番地5
高知消防システム株式会社
- 納入場所 幡多西部消防組合大月分署
（第3分団一切のポンプ車更新）
- 契約期間 議決を得た日から
令和4年3月30日

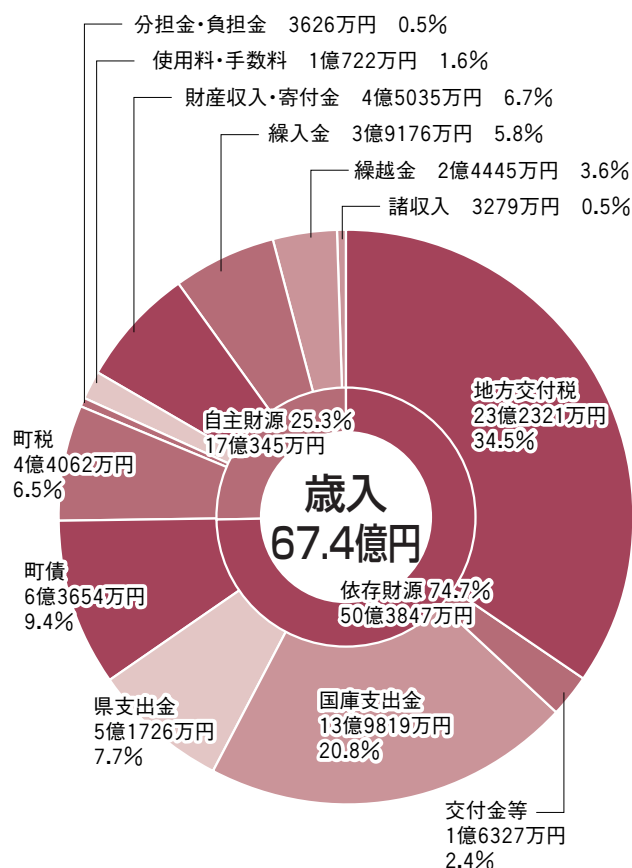
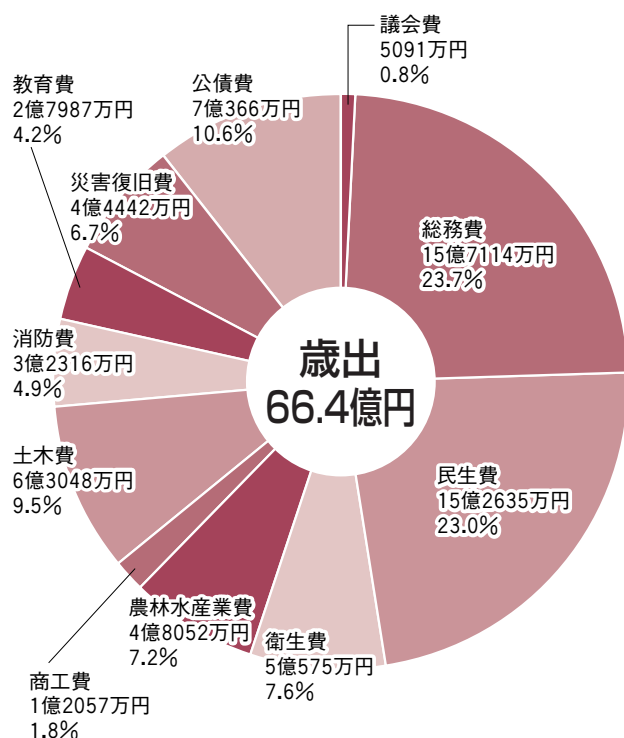


一切に配備される消防車（同型）

令和2年度一般会計決算

歳出約66億4000万円

一般会計



歳入歳出決算認定

会計名		歳入	歳出
一般会計		67億4193万円	66億3684万円
特別会計	特別養護老人ホーム	3億4903万円	3億4903万円
	国民健康保険	8億5664万円	8億3842万円
	水道	3億6868万円	3億6836万円
	介護保険	8億889万円	7億7424万円
	漁業集落排水処理事業	1143万円	1074万円
	後期高齢者医療	9557万円	9367万円
病院事業会計		5億8009万円	5億6126万円
計		98億1227万円	96億3257万円
会計間重複額		-5億5917万円	-5億5917万円
純合計		92億5309万円	90億7340万円

■健全化判断

令和2年度の決算は資金不足がなく健全な状態。

(単位：％)

	備 考	令和 元年度	令和 2年度	早期健全化 基準
実質赤字比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、普通会計(一般会計、住宅新築資金等貸付事業)の赤字額の割合	赤字 なし	赤字 なし	15.00
連結実質赤字比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、一般会計、特別会計全ての赤字額の合計の割合	赤字 なし	赤字 なし	20.00
実質公債費比率	収入に対する借金返済額の3カ年平均の割合	9.1	10.2	25.0
将来負担比率	自治体が自由に使える収入の標準額に対する、一般会計、特別会計、一部事務組合が将来負担すべき実質的な負債の割合	55	31.6	350.0

公営企業の経営の資金不足比率

大月病院事業、水道事業、漁業集落排水処理事業とも資金不足なし。

経営健全化基準は20.0%である。

■監査委員の意見(要旨)

一般会計	それぞれ前年度に比べ増加している。一般会計の形式収支、実質収支及び当該年度のための収支を示す単年度収支は黒字となっている。
歳 入	ふるさと応援寄附金及び依存財源であるコロナ関連事業に伴う国庫支出金及び県支出金は大幅な増加となっている。その反面、自主財源の根幹である町税等が減少となっている。
繰越明許費	空き家活用シェアオフィス等整備事業、新型コロナウイルス感染症対策事業、農道改良事業、緊急自然災害防止事業、防災・安全交付金事業、がけくずれ住家防災対策事業及び現年・過年発生河川等災害復旧事業などが主なものとなっている。
特別会計	形式収支、実質収支は、それぞれ黒字となっているが、単年度収支は、水道特別会計及び後期高齢者医療特別会計は赤字となったが、その他の特別会計は黒字となっている。 本来ならば特定の歳入をもって歳出に充てるものであり、一般会計からの繰入金が必要最小限にとどめるよう努力され、事業運営の一層の効率化及び事業収入の増収に取り組むべきである。
滞納、未収金	町民負担の公平性を損なうことのないよう、収納に向け一層の努力を望むものである。

業務の執行にあたっては、費用対効果を十分に検証し、前例にとらわれることなく全庁的に取り組むなど実施方法の見直しを徹底し、より効果的、効率的な予算執行に努められたい。

大月病院	累積赤字は前年に引き続き大幅に減少している。新型コロナウイルス感染症の蔓延等により患者数及び収益は前年度より減少したものの、純利益は前年度に引き続き増額となっている。今後においても、医療制度改革や人口の減少など病院を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、外来及び入院患者に対するきめ細かな医療・サービスの提供などにより、患者数の確保に向け医師、看護師等及び職員が一丸となって更なる経営改善を図り、公立病院として住民福祉の増進のため、なお一層の努力を望むものである。
------	---

決算認定（本会議における質疑）

財政健全化に努力を！

浦木 経常収支比率は昨年度より1・8ポイント下がって、93・7%。公債費負担比率は昨年度より0・7%上昇し、19・7%である。こうなった主な要因は何か。

答 経常収支比率とは財政の柔軟性を示すもので、一般的には75%～80%以内が運営上良い状態とされています。大月町は93・7%、依然厳しい状態です。公債費負担比率の増

えた要因は、平成28年度に借り入れた防災拠点整備等の起債の償還が始まったことによるものです。

浦木 公債費負担比率は、財政運営上20%が危険ラインとされ、大月町は危険ラインぎりぎりのところにいる。また、大月町の経常収支比率は、義務的経費に予算を多く割かれ、投機的経費にお金が残らない状況を示してい

る。この硬直化の現状をどう改善しようとしているのか。

答 極力無駄な経費は支出しないことや収入面の確保といったことを中心に取り組んでいます。1年、2年というスパンで財政が一気に好転することはありません。毎年度健全に維持していくことに努めて予算運営を行っています。



大月の未来のため財政の健全化を！



職員一人ひとりの努力が実を結ぶ

浦木 どこをどう改善すれば財政の健全化に向けて動くのか、そういうものを分析しながら方向性を出していただくように、町長の決意をお伺いしたい。

答 指標の段階ではその範囲をクリアしていますが、経常収支比率、公債費率が上昇してい

ることは事実です。当初予算の編成、令和2年度の決算の結果を見ながら、我々も財政指標に基づいた予算編成をしなければならいと考えています。特に財政につきましては、このことを重視しながら予算編成を進めていきたいと考えています。

決算審査

9月14日、15日の2日間、全員協議会で決算を審査した後、15日の本会議において令和2年度決算を全会一致で承認しました。



1人1台のタブレット

ギガスクール構想

問 ギガスクール構想の進捗状況は。

答 高速通信ネットワークの整備とタブレット端末の整備を行っていきます。タブレットは小中学校合わせて301台を購入し、全ての児童生徒、教員が使えるようにしています。

ふるさと納税

問 ふるさと納税では返礼品経費が多いのではないか。

答 寄付額は約4億3800万円。48・6%の伸びで県下8位。返礼品経費は57・7%で経費の見直しを行わざるをえません。

地域振興費

問 地域振興費は増えたのか。

答 地域振興費は約8000万円で134・2%の増。しかし、新型コロナウイルス関連事業が約4900万円含まれてゐるため、実質、地域振興費は減少してゐます。

泊浦河川

問 泊浦河川の改修について説明を。

答 委託料1757万円、工事請負費6319万円で完成しました。

畜産振興費

問 畜産振興費1億8715万円の成果は。

答 唐岩のウインドレス鶏舎3棟とロータリー攪拌式堆肥舎1棟建築。出荷羽数は約100万羽から約150万

羽へ。雇用も3名増える予定です。

地域公共交通

問 地域公共交通実証運行費1175万円の成果と課題、今後の方向は。

答 まちバス、デマンド型バスとも予算削減にはならないことが分かりました。まちバスは好評です。デマンド型バスは、今回の運行体制では無理があるため、次回の実施とともに検討が必要です。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊1440万円の成果は。

答 映像制作などのシテイプロモーション担当2名、空間デザインのコミュニティスペース担当1名、計3名を配置しています。

これまでに、任期満了した協力隊のうち3名が起業支援補助金を活用し、町内で起業しています。



改修された泊浦川

◆若者定住対策

宅地造成に取り組むべき



造成された宅地（イメージ）

本町の高齢化率は一段と高まり、年少人口比率は一段と減少していると推測される。より厳しい少子化、高齢化である。2060年の大月町の目標人口3008人は達成困難な状況である。

この問題を解決するには、第7次大月町総合振興計画の将来像、推進テーマを活かし若者定住

（生活できるための働く場の確保、住むところの確保）にしっかりと取り組む必要がある。そこで、本委員会は、住むところの確保としての「宅地造成」に取り組むことを提案する。宅地造成に取り組むことで、住民はその場所に将来にわたって住み続ける人が増える。若い世代が新築するため子

どもが増え人口増につながる。町の将来を担う子どもがより多く生まれる。人口が増えることにより消費が生まれ町の活性化に役立つ。若者や子どもが増えて高齢者の心の支えになり家族の絆が深まる。若者が増えることで地域に貢献できる等の利点がある。

このことは、第7次大月町総合振興計画の将来像「住みたい、住める、住んでよかった、未来へ繋ぐまちづくり」と結びつき、推進テーマ「人づくり、地域づくり」をさらに推し進めるものと考ええる。

以上、総務厚生常任委員会の調査報告とし、結審する。

主な提案事項（要約）

- 住民が大月町に残ってもらうために、固定資産税の減免等の税制優遇措置及び宅地入手のための若者への特典、地元業者活用の特典などを検討すること。
- 宅地造成に対する住民意識の調査（アンケート）をし、集約すること。
- 宅地造成のための土地開発公社の設置などを検討すること。

次回定例会は**12月**の予定です。

9月定例会の傍聴者は5名でした。

傍聴・録音放送のお問い合わせは
議会事務局までお願いします。

（電話：0880-73-1682）



浦木 秀雄 議員

コロナ対応

患者の買い物支援は

置き配で対応／保健介護課長

問 幡多けんみん病院のコロナ患者受け入れには、症状によってどのような区分があるのか。また、患者が急増した場合の対応は。

大野保健介護課長 発熱及び呼吸器症状があり状態の悪い患者は入院。軽傷者は宿泊療養、自宅療養になります。

8月26日、知事メッセージで、病床占有率40%で患者が急激に増加しているため、自宅での療養をお願いする

としていますが、9月12日の病床占有率は31・4%です。対応は県の判断です。

問 コロナ患者や家族は買い物にいけない。どういう対応をするのか。

大野保健介護課長 量販店と提携して、一週間分の食料品・日用品を、感染者との接触がない置き配で、幡多福祉保健事務所が対応することになっています。



幡多けんみん病院

第7次大月町総合振興計画

任期中の目玉の施策は

6つの基本目標の推進／町長

問 第7次大月町総合振興計画は、「産業振興」から「人づくり・地域づくり」へどうして目的を変えたのか。また、人づくり・地域づくりは、産業振興等の取り組みを通して達成できるものではないのか。住民アンケート結果とも矛盾するものではないのか。

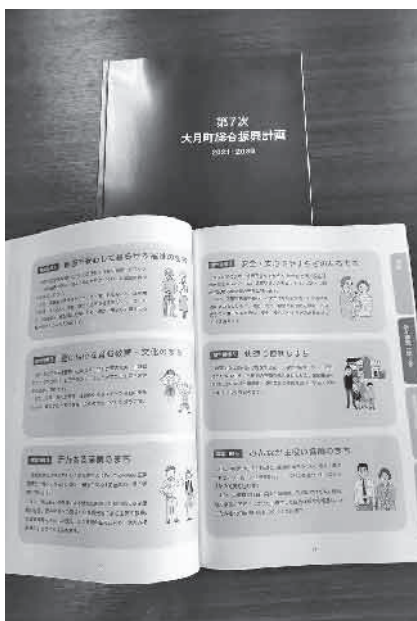
岡田町長 働く場が不十分、雇用対策に不安というアンケート結果が出ていることも承知していますし重く受け止めています。人づくり・地域づくりに関しても、議員の言われることは正論で賛同します。しかし、本町の取り組みは産業だけでは

ありません。まずは人手不足を解消すること、人材の確保をすることにより、地場産業を守り、住民福祉の拡充をすることができるとは、ないかと判断しました。

問 第7次大月町総合振興計画の目標達成のため、10年間に取り組みべき主な具体的施策

は何か。町長の残り任期3年で取り組み目玉となるものは何か。

岡田町長 一次産業を中心とする担い手、後継者の育成、子育て支援による若者世代への支援、移住促進、新たな人材の確保と受け皿となる施設の整備を進めていきます。私の任期中の目玉となる施策は、第7次に掲げる6つの基本目標の推進であり、社会情勢などを注視しながら着実に取り組み所存です。



第7次大月町総合振興計画

企業版ふるさと納税

積極的に働きかけを

寄附をしたくなるように検討／町長



久米 里志 議員



我が社も、ふるさと納税を！

問 企業版ふるさと納税は、寄附額は1回あたり10万円以上で、優遇措置により寄附額の9割が軽減される。企業は返礼品や経済的利益は受け取れない。期間は令和6年までだが、早急に企業版ふるさと納税に取り組んでほしいか。

岡田町長 企業から地方公共団体への寄附は、内閣府の認定を受ける必要がある、本町においても令和2年11月6日付で地域再生計画の認定を受け、寄附を受ける態勢は整っているが、1割とはいえ企業の負担が伴うことから、寄附の実績はありません。SDGs（持続可能な開発目標）等の時代の潮流もある中で、企業が寄附をしたくなる取り組みを検討して財源確保に努めていきます。

問 本町にもふるさと納税の対象となる企業があり、町外、県外にも多くあると思う。町は財政の厳しい状況なので、国民年金だけの方や低所得者に向けた施策実施のためにも、積極的に働きかけて協力してもらうことが必要ではないか。

岡田町長 今後は企業版ふるさと納税の対応を進めていきたいと考えています。1件でも多くの企業に状況を説明して取り組んでいきたいと思っています。

奨学金返還支援制度の導入

若者の負担軽減、移住者定住を

早急に検討する／町長

問 大月町には、母子家庭や中低所得、子育て世帯の方が多くいる。高校や大学、そして専門学校等進学するため多額の経費が必要である。奨学金返還支援制度は、令和2年6月から国の補助率も50/100から100/100となり、自治体の基金も不要だ。この制度を導入して若者の負担軽減や移住・定住につなげていけるのではないか。強く提案する。

岡田町長 現在、多くの自治体が制度活用を行っていることは承知していますし、私も子育て支援や移住促進の観点から有効な制度だと思っています。本来、貧困差をなくし、質の高い教育を誰もが受けられる環境を整備するのは国の責務と思っていますし、本制度が目的とする子育て世帯支援、若者支援という観点から、良い制度であると認識しています。

早急に支援制度の取り組みについて検討していきます。



有望な人材に育て！



中田 巖議員

将来の山林管理

雑木林にも意向調査を

大事なお提案／町長



豊かな山林を活かしきれていない

問 将来、山林の管理を町に委託するかどうかという意向調査が行われている。その進捗状況は。

新谷産業振興課長 銚土と春遠地区の人工林所有者116名を対象に調査票を送付し、41件の回答がありました。現在「町に経営管理を委ねることを検討したい」が最多の58・5%です。

問 雑木林においても管理が必要になってくる。ここで①雑木林の意向調査を地区に委託する。②地区に必要な

山林は管理してもらおう。③そのモデル地区をつくる。④必要経費の財源は森林環境譲与税を活用。この提案について町長の考えを聞く。

はじめ、森林経営管理制度による取り組みを最優先し、4つのご提案につきましては、今後、健全な森林整備を進めていく上で大事な提案であると受け止めます。

町長の政治姿勢

答弁後の状況が見えにくい

必要に応じて報告／町長

問 議会や議員の指摘や提案に対して、「協議していきます」「検討します」と答弁した

つもりです。それ以外のものは予算で結果を反映させています。

その後の状況が分かりづらい。担当課を通じてでも、適宜報告していくべきではないか。

岡田町長 非常に重要

問 議会も執行部もこの町を良くしていきたいという想いは同じ。独りよがりな手法にな

なご質問をいただきました。特に重要な案件につきましては、適宜行政報告や全員協議会等の場で報告している

岡田町長 情報を共有していく考えは、私も持っています。必要に応じて、適宜報告させていただきます。

将来の大月町

「人づくり」は人ごとではない

私を筆頭に職員から／町長

問 大月町は第7次総合振興計画においてSDGsの理念に基づき、人づくりを柱とするこ

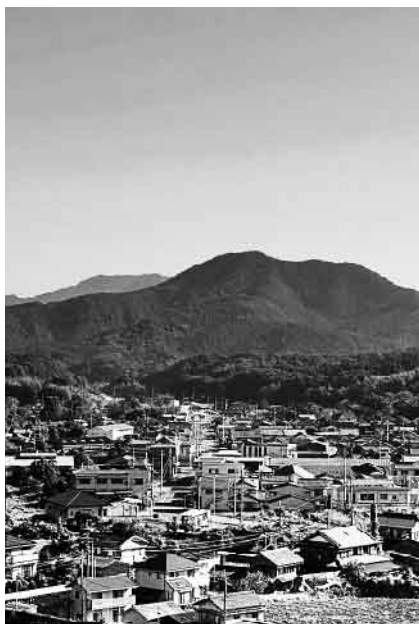
の理解と町が掲げる人づくりの目的を十分理解する必要があると考えています。

とを議会も承認した。しかし、その「人づくり」が人ごとになっていないか。町長を筆頭に執行部から模範にな

SDGsを理念とした第7次総合振興計画は、本町が存続していくためには必要不可欠な施策であり、未来へ繋ぐまちづくりの実現に向けて、私を筆頭に職員が同じ方向を目指していく決意です。

岡田町長 まずは私を含め、職員がSDGs

含め、職員がSDGs



持続可能なまちづくりのため

こんにちは

はまだ ゆみ
濱田 佑美 さん (田城)

心のおもてなしを!



お客さんに丁寧な説明

町の観光協会に勤務する濱田佑美さんを訪ねました。

観光案内所では忙しいのに、電話対応の最中でしたが笑顔で迎えてくれました。

職を求めて帰郷

後、3年ぐらい薬局で半日勤務の仕事に就いていましたが、縁あって令和元年11月から大月町観光協会に勤めることになったそうです。

経理・庶務事務・来訪者に町の観光案内や史跡名所の説明・問い合わせ電話対応などの内勤事務を担当しています。

お客様から有り難う!

特に、電話対応は顔が見えないだけに、お客様の問い合わせに丁寧に分かり易い説明を心掛けていると言っていました。

パンフレットや観光資料の発送も仕事の一部です。そのお客様が観光案内所を訪れて「丁寧に教えて頂き有り難う!」、「資料を有難う!」とお礼に来てくれたときは、少しはお客様のためになったかなと思うときもあるようです。



夏は大忙しの案内所

案内所の整備を

観光案内所を訪れたお客様に説明するとき、目的の地までの看板や目印が少ない場所が多く迷わずに到着できたかどうか心配になることがあります。「お客様が不便を感じないように看板や案内板の整備をして欲しい」と言っていました。大月を訪れるお客様に「心のおもてなしをしたい」と穏やかで優しく話す言葉の中にも力強さが感じられました。

表に出ない陰の主役、佑美さん!これからも大月の観光のために頑張ってください。

(取材 山本恒和)

編集後記

お世話になった人たちが、一人、また一人と亡くなっていく。命を輝かせ、周りにぬくもりを与え、大月町を支えてくれた人たちがあつた。

国勢調査によると、2010年から2020年の10年間に本町の人口は1351人減った。毎年130人を超える急激な人口減少が起きている。

このことに危機感を持ちどう対応するのか、行政や議会の大きな課題として突きつけられている。

(浦木 秀雄)

議会広報常任委員会

委員長 山本 恒和
副委員長 浦木 秀雄
委員 依岡 一生
委員 安原 明彦
委員 中田 巖